

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

シーサイド

(ユニット名)

げんき

記入者(管理者)

氏名

田中 望

評価完了日

平成 21 年 1 月 15 日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|--|--|---------------------------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) | | |
| | | | 開設当初からの法人基本理念に基づいて動いている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 法人は、「地域と共に歩みます」という理念を掲げておられる。事業所では、「えがお」「元気」を理念に掲げておられる。 | | 貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのか、ということの具体について話し合う機会とされてほしい。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 理念はフロアーに掲示し日頃から職員と意見交換しながら共有し実践に努めている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 毎年一回開催される法人全体の研修時に、法人代表者は、法人の理念について話しておられる。事業所の共用空間内に理念を掲示されている。 | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 理念はフロアーに掲示し入居相談時に説明している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 玄関前にベンチを用意しつつでも誰でも気軽に来ただけできるようしている。畑作業や散歩時に地域の方に野菜の交換をしていただき感謝している。入居前に利用していたスーパーへ買い物に行き懐かしい人との会話を楽しむこともある。 | | 施設であるということが、大分地域にも周知されるようになり、いろいろな相談がくるようになっている。 |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 地方祭には神輿が来てくれたり、夏祭りにはご近所の方や学生のボランティアの参加協力をいただいている。定期的に保育所や民生委員さんの訪問がある。また、毎月様々なレクリエーション(教室)に地域の方が来てくださっている。 (外部評価) 自治会の清掃活動に、利用者と共に参加されている。事業所近くにある四国霊場の札所の清掃を、月一回されている。四国遍路の縁日には、お接待用のあめを地域の方と一緒に袋づめされたり、手作りぜんざいのお接待をされている。 | | |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 毎年島四国遍路の縁日には入居者と職員が協力し、遠方からの巡拝者へお接待し、信仰篤き島の行事を受け継がせていただいている。毎月、定期的に、散歩時と隣接の札所清掃をさせていただいている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 今までの関わり方でよかったのかどうか検証し、振り返る貴重な機会だと認識し、全体で協力して取り組む大切さを感じている。 (外部評価) 前回の自己評価結果に基づき、各項目について話し合わせ、管理者等が作成された。この一年間、地域の方にあいさつをすることで、地域との関係を深めていくことに努められた。 | | 自己評価に取り組む際に職員が気付いたことは、ケアの改善への最大の起点でもある。今後、評価結果を活かし、運営推進会議時等に、職員、ご家族、地域の方達と、貴事業所がさらに良くなっていくための、話し合いのきっかけとされてほしい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 2ヶ月に1回開催しており、ありがたいことに参加者が ホームを自分のこととしてとらえ、活発に意見を頂い ている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所主催の夏祭りのポスターを貼る場所について情 報や協力を得たり、札所清掃や行事、ドライブ等、事 業所の活動についてご意見を聞いておられる。 | | 会議への出席者を増やされたり、会議のすすめ方につ いても工夫を重ねていかれることが期待される。出席 者からいろいろな意見をいただきながら、さらに関係 を深めていかれてほしい。 |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる | (自己評価) | | |
| | | | 支所の推進会議メンバー以外にも市役所高齢介護課よ り訪問があり率直な意見をいただいている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 市から、感染症予防についての情報や、近隣地域での イベント等の情報等も得ておられる。 | | 運営推進会議等、市の担当者の方と会う機会等を活か して、貴事業所のことをさらに知っていただけるよ う、積極的に働きかけてほしい。 |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る | (自己評価) | | |
| | | | 成年後見制度や福祉サービス利用援助事業のパンフ レットを常備し必要に応じて利用できるようにしてい る。 | | |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 施設内研修等で定期的に勉強会を実施している。困難 事例検討時にも職員間で意思統一し防止に努めてい る。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時、家族の不安・心配なことなどをお聞きし、重要事項説明等で十分説明をしてご理解・納得がいただけるようにしている。 | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 受付にご意見箱を設置している。契約時、重要事項や苦情のフローチャートで説明させていただき、周知をしている。また職員にも苦情処理のシステムを徹底しており、意見などのあった場合には職員間でも解決にむけて話し合いをしている。 | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 毎月シーサイド新聞を配布している。その際、個別で暮らしぶり等状態をお知らせしている。ご本人の写真をいれたお年賀や暑中見舞い、絵手紙なども入居者さんと送り送らせていただいている。つど都度電話にて連絡調整もしている。 | | |
| | | | (外部評価) 写真を載せて毎月、事業所便りを作っておられる。ご家族の来訪時には、ご本人の健康状態や日常の様子を伝えておられる。来訪の少な目のご家族には、個別にお手紙等で知らせておられる。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 受付にご意見箱を設置している。契約時、重要事項や苦情のフローチャートで説明し、周知をしている。また日ごろより家族とも会話によりなんでも言い易い関係づくりを心がけている。家族会でもご意見をいただいている。 | | |
| | | | (外部評価) 家族会は、年1回(クリスマス会のあと)に行われている。半数くらいのご家族の参加があり、「表情がよくなった」「元気になった」等の感想をいただいた。 | | 職員は、家族会の回数を増やしたいと考えておられた。ご家族に事業所のことをさらに知っていただき、工夫を凝らした家族会になるよう、すすめ方の工夫を重ねていかれてほしい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) ミーティングや日々の会話も積極的に行い、率直な意見や本音を引き出せるようにし前向きに検討している。 | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 希望を取り入れた勤務表の作成と緊急時の対応もスムーズに行えるよう話し合って調整している。 | | |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 馴染みの関係も大切にしつつ法人間での人事異動についても利用者のダメージを最小限に防ぐよう、諸行事などを合同で行うなど工夫している。また、定期的にミーティングなどで双方の現状をつかみながら運営している。 | | |
| | | | (外部評価) この1年間、職員の離職はほとんどなく、職員は、日常的にユニット間を行き来し、全利用者とは馴染みの関係を持てるように心がけておられる。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 外部研修は朝会やミーティング時にほかの職員にも伝達し、内部研修はミーティング時にその都度必要事項について学習会を開催できるよう努めており、講義や実技の研修も行っている。現場研修はマンツーマンでお互いに成長できるよう取り組んでいる。 | | |
| | | | (外部評価) 法人では、職員が外部研修を受けやすくなるようサポートをされている。最近では、感染症対策等の研修に参加された。月1回、事業所内で職員が集まり、テーマを決め勉強されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|---------------------------|---|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) 研修の機会を通じてのネットワークづくりや法人内の事業所間の合同ミーティングを開催している。また毎月、関係施設合同の会議の開催時は困難事例等について話し合っている。 | | |
| | | | (外部評価) 管理者やケアマネージャーは、市主催の会議時等で他事業者と交流されている。研修受講時に知り合った他事業所職員の方の来訪があった。 | | 職員は、今後、同業者との情報交換や、事業所間での訪問等、交流をすすめていきたいと話しておられた。他事業所の取り組みを知る等、貴事業所のさらなるケアの質向上につなげていかれることが期待される。 |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) 定期的な親睦会の開催や、日常的な会話の中で聞き取りしている。施設内の岩盤浴や、運動機器なども職員に開放している。また、ボランティアによる、職員を対象とした、リラクゼーションボディケアを行っている。 | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) 常日頃から意欲を持って働けるよう声かけしている。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 入所の際から利用者本人とコミュニケーションを取る前に、相談時から希望・不安等についても伺い、どうすればいいかを考えている。 | | |
| | | | | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 入居時からしっかり情報収集し、利用者についての家族からの意向を状態に応じ伺い、より良い介護ができるように家族の意見を大切にしている。 | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 随時状態に応じた介護サービスが行えるよう、利用者・家族に伺いながら、また、日常生活で観察を行い、より適切なサービスが行えるよう努めている。 | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) フロアでのレクや外へ出て一緒に活動(施設の行事、散歩など)する中で利用者間やスタッフとの関わりを持つ場を増やしている。また、随時利用者本人や家族からの情報をもとに、得意なことや好きなこと、興味のあることなどを探っていくている。 (外部評価) 入居前に、ご家族と共に見学をしてもらったり、「午前中の気持ちの安定している時間帯」に入居していただけるよう、すすめておられる。入居間もない頃は、職員がご本人に寄り添い、他の利用者とも仲良くできるよう気を配っておられる。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 利用者の得意なこと、好きなことはしてもらったり、教えてもらったりしながら一緒に生活している。利用者がどう感じたかなど、その時の気持ちを理解し、共有しようとしている。 (外部評価) 島の方言や切り干し大根の作り方を教えてもらうこともある。サツマイモの収穫時、利用者の方から「昔は、芋の茎を食べた」とのお話を聞き、一緒に作って食べられた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 随時家族の意向を伺い、尊重しながら利用者本人にとって一番良い介護を行っていきけるよう努めている。 | | |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 夏祭り、クリスマス等の行事を家族と一緒にやる他、家人とスタッフが連携を取り、日常生活・身体状況等を伝えたり、定期的な園内新聞を送ることで、家族と利用者の関係をよりよいものにしようと支援している。 | | |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 地元外の入居者多い為、場との関係は難しいが、手紙等のツールを用い、人との関係が途切れないような努力をしている。利用者の希望を取り入れ、外出レクなど、外出の機会を持つように努めている。 | | |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 入居者間で生まれた絆や関係性を把握し、孤立しないように努めている。また、レクを通し、入居者内で楽しく生活できる関係作りを持てる場を提供している。 | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 実家ではなく入院等による退所等が多い為、お見舞いに行く等により、利用者・家族とも交流があり継続した関係を持っている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------------|--|
| <p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> | | | | | |
| <p>1.一人ひとりの把握</p> | | | | | |
| 33 | 14 | <p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>(自己評価) 日頃積極的にコミュニケーションを取ることで利用者本人の意向を探り、ケアに生かしている。また、定期的にカンファレンス・ミーティングを行うことで、本人の意向についてスタッフと考え、統一したケアを目指している。</p> <p>(外部評価) 職員は、日々、利用者の生活の中での言動や表情等から、思いや意向を汲み取るようにされている。</p> | | <p>ご本人のより良い生活を支援するためにも、利用者個々についてのアセスメントの充実が期待される。ご本人についての情報をさらに集め、それらの情報を活かして介護計画を作成し、ケアの質を高めていかれてほしい。</p> |
| 34 | | <p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>(自己評価) 入所時に本人・家人からアセスメントを行う他、日頃の生活からもコミュニケーションを取ることで情報を増やしている。</p> | | |
| 35 | | <p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>(自己評価) 申し送りを行うことでスタッフが前日からの流れを把握し、また、バイタル測定や日中の様子を多方向から見ることで総合的に把握するように努めている。</p> | | |
| <p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p> | | | | | |
| 36 | 15 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価) 日々の生活の中で利用者本人の意向や家族の意向、また、状態に応じ必要だと思われる介護サービスをスタッフ間で定期的に話し合いプランに反映している。</p> <p>(外部評価) ご本人の意向やご家族の希望も採り入れながら、職員で話し合い、介護計画を作成しておられる。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 定期的に見直し、利用者の状態が変化したりプランが合わないと思った際は、スタッフや家族・利用者や話し合い、プランを見直し、適切なプランをたてている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 3ヶ月ごとの見直しと、入院等に伴い、状態変化があった場合、随時見直しされている。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 日々の状態を記録に残すことでスタッフ間でケアの見直しを行い、ケアに生かしていくよう努めている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 希望に応じて外泊を行い、自宅ですぐしていただき、帰宅時の注意点、帰宅時の様子など細かく連絡を取り合う。また、帰宅時に問題点や何かあった場合は、すぐに連携がとれる体制がある。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 職員は、利用者の病院受診や墓参り、理美容院利用や個人的な買い物、自宅に帰ってみる時にも同行されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 地域の方とコミュニケーションを持つ場（民舞披露・ダンス教室など）を設けたり、施設の行事の際には、ボランティアも積極的に受け入れるようにしている。 | | |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 入居時以前のケアマネジャーから情報収集し、本人の意向も確認し、継続的により良く暮らせるために支援している。また、入居してからは、介護タクシーの利用など、必要に応じてお手伝いするようにしている。 | | |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 権利擁護事業や、成年後見人制度のパンフレットは受付に常備し、必要時には迅速に対応できるようにしている。包括支援センターの職員は、運営推進会議にも参加し、協力できる体制をとっている。 | | |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 最低でも、月1回程度は協力病院を受診している。また、利用者の希望によっては他病院の受診も行えるよう支援している。 (外部評価) 利用者・ご家族が希望する医療機関で受診されている。受診時は職員が同行し、医師・看護師から話を聞くようにされており、ご家族にも受診時の様子を伝えておられる。 | | |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 協力病院にて認知症診断、治療をしている。また、相談も行っている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 定期的な病院受診や協力病院と連絡を取り合い、利用者を医療面からも支えるようにしている。 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 協力病院と連携を取ったり他病院に入院した際も連絡し合うことで早期退院や利用者の安心に努めている。 | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 病院での診断を定期的に行い、受診結果や利用者の現状を家族に連絡し、把握してもらうことで、終末期についても家族に考えてもらうようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) 看取りについては、入居時に事業所の指針に基づいて説明されている。事業所では「重度化・看取りを受け入れる体制はできており、職員間の意識統一も出来ている」と話しておられたが、今のところ利用者ご家族からの希望者はいない。 | | さらに、事業所では、今後ご家族と話し合いを繰り返し行いたいと話しておられた。 |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 終末期について、スタッフ間での意識はどうかなど、ミーティング等で話し合いを持つ他、統一したケアが行えるよう努めている。また、協力病院に定期的に受診することで異常の早期発見を行える。 | | |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 利用者の状態を見ながら他の場所へ移り住む際、関係者間で情報交換しあい、利用者のダメージが最小限になるよう考えている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1.その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) 利用者の尊厳について考えつつ、ふとした会話の中でも、言葉使いには気をつけ、対応するよう努めている。また、記録においても個人情報について配慮するようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) 調査訪問時、下着で居られる利用者の姿も見受けられ、又、職員の利用者へ対する言葉かけで、配慮が必要と思われる場面もあった。 | | この機会に職員の利用者への対応について、「尊厳を守る」という点から点検するような機会とされてほしい。ケアの質を高めるためにも、運営推進会議のメンバーやご家族等、ケアについて外部者の意見を聴くような機会を設けてはどうだろうか。 |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) 利用者とのコミュニケーションを取る中で意思表示してもらったり、利用者が快適に過ごせるようにどうしたらいいかを利用者と一緒に話しながらケアしていくよう努めている。利用者のその場での役割があり、やりがいのある状況を作るようにしており、達成感や満足感を感じられるように声かけを行っている。 | | |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 利用者の生活暦を知り、それに基づいたケアを行うように努めている。 | | |
| | | | (外部評価) 利用者個々に、ご自分の粉せっけんが準備されており、職員は、利用者個々に洗濯機の使い方を説明し、それぞれが洗濯をされている。夜間よく眠れなかったと言われる方は日中、お部屋で少し休まれていた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 利用者には出来るだけ好みの服を着てもらい、衣服の着脱や整髪など、必要時援助するようにしている。また、美容や整容はエステや散髪などでも行えるようにしている。 | | |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者の状態によりスタッフと食事の準備をしてもらったりしている。メニューや食材についての話を職員が意識的に話し、食欲を高めている。 (外部評価) 温かいものは温かいうちに食べていただくことに努めておられる。調査訪問時、下膳されている方の様子が見え、調子が良かった。時に、回転寿司等、外食に出かけることもある。 | | 「食事を楽しむ」という点から、おいしい食事を楽しめるよう、工夫を重ねていかれてほしい。さらに、メニューを決めたり食事作り等、いろいろな場面で利用者の持てる力を発揮できるような支援が期待される。又、職員が、食事の硬さや味等、食事について話し合う機会等を設けてはどうか。 |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 買い物レクにて本人が買いたい物を選べるように援助している。利用者の状態など考慮しつつ、嗜好品を楽しんでもらえるようにしている。おやつレク、食事レクにて、食べたいものを手作りし、その際、体調面に気を配りながら、お酒も振舞っている。自分たちが農園で育てた食材を使用して調理し、作る楽しみを味わっている。 | | |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 日々の生活の中で排泄パターンを掴み、排泄の自立に向けて関わられるよう努めている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の状態・体調等を見ながら希望時、入浴出来るようにしている。また、柚子など入れる等して季節を感じ、楽しめるようにも工夫している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | お風呂は、入りたい時、いつでも入浴できるよう準備されている。嫌がられる方には、入浴剤を入れたり、気の合う方同士で声を掛け合い入浴されたり、タイミングを計って誘う等工夫されている。又、施設建物内の展望浴場に入る方もいる。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 生活暦や好みを知る他、匂いや温度、光などの要因にも気を配り、安眠できるよう努めている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者一人一人の好きなことなどを知り、ケアに取り入れるように努めている。また、生活歴を知り、それに基づいたケアをするようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 以前、畑仕事をされていた方も多くおられ、事業所の畑で野菜作りをされたり、検温や血圧測定のお手伝いをしてくださる方もいる。つり・習字・砂絵等、楽しめる方もいる。パンの販売車が来ると、好みのパンを選んで買うことが楽しみの一つになっている。 | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の状態に応じ、本人で現金を持っていることもあるが、大部分の人は事務所で預かり、必要時いつでも使えるような状態にしている。預かっている方でも、買い物時は本人がお金を持ち、支払う機会を作っている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|---|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の体調、様子を見ながら外出をしている。月2回の札所清掃や外出レクなども行っている。希望時、レクで散歩に出かけ、ご近所の方とも交流を図っている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 畑の手入れ・散歩・買い物に行かれたり、ドライブに出かけることもある。 | | さらに、利用者一人ひとりについて「行きたいところ」を探り、出かけてみるような取り組みもすすめてはどうだろうか。 |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 外出レクなどで利用者の希望を考慮したプランをたてる他、家族とも連携を取り、外出してもらうこともある。花見、初詣など、施設の催し物の際には御家族にも、気軽に参加できるように呼びかけ、一緒に過ごせるように支援している。 | | |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 定期的に本人がレクで作った絵はがきで手紙を書いたりしている。また、電話も要望があれば出来るようにしている。 | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 御家族にも遠慮なく利用者と一緒にお茶を飲んでいただいたり、時には、利用者とお茶だけでゆっくり過ごせる時間を作ったりしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|---------------------------|---|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 利用者の安全を考えながら拘束しない方法を考え、行うよう努めている。 | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 上の階に有料老人ホームを併設しているので、プライバシーの保護目的でエレベーターに鍵をつけているが、それ以外は利用者の安全を考えながら鍵をかけないように努めている。 (外部評価) 事業所は、2・3階部分にあり、個々のプライバシー保護の目的で、エレベーターや階段を使用しての出入りとなっている。双方とも職員の操作がないと出入りすることは出来ない状態である。時に、ベランダに出て外の開放感を得るようにされている。 | | さらに、今後も、利用者の自由な暮らしを支えていけるような配慮や、雰囲気作りの工夫を重ねていかれることが期待される。 |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 利用者の状態を見ながらフロアで過ごしてもらったり、常にどこにいて何をしているかを把握するように努めている。 | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 利用者の状態に応じ、ハサミなども居室に置いているがスタッフはだれがはさみを持っているか、どこに置いているかなども把握するよう努めている。 | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 利用者の状態を日々観察し、定期的な病院受診もを行い、異常の早期発見に努めている。また、事故発生においてもマニュアルを作成している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 事故発生時にはどうすればいいかマニュアルを作っている他、直ぐに医療と連携が取れる体制を取っている。 | | |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 定期的な避難訓練や火災訓練を行い、スタッフは災害時にどう対応すればいいかを身につけている。 (外部評価) 消防署の指導により「火災の時は、各階の階段前に取り付けられている防火扉の中に、利用者を避難させるよう」指導を受けておられる。 | | さらに、全館スプリンクラーの設置を計画されている。「今後も火を出さないことに万全の努力をしたい」と話されていた。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | (自己評価) 定期的な病院受診を行い、現状を家族に知ってもらうことで利用者の起こりうるリスクを説明している。また、それに基づいた最良のケアを考え、行えるよう努めている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 日中の様子、バイタルサインの変化などから、利用者の早期異常発見に努め、速やかに対応している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 医薬品情報をカルテに挟むことでスタッフがいつでも薬について学べるようにし、必要に応じ本や看護師に聞くなどして、詳しく内服について学べるようにしている。 | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 野菜を多く含む献立や水分を多く摂ってもらったり、レクや散歩などの運動をしてもらうことによって、便秘予防に努めている。 | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 毎食後必ず口腔ケアを行い、またその際に口腔状態の観察も行っている。 | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 月1度の体重測定を行い、著しい体重の増減がないか注意している。また、排泄チェックを1日行うことや、水分摂取量を1日トータルで計算していることでも、利用者の状態を把握している。 (外部評価) 管理栄養士の下、栄養面の管理をされている。持病のある方は、医師に相談しながら支援されている。朝一番や湯上りには必ず湯茶・水等をすすめておられる。 | | |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) 感染対策マニュアルを作成し、いつでもスタッフが閲覧できるようにしている。また、流行時期には早めに勉強会を開き、予防のための張り紙をするなど予防に努めている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------------|--|
| 79 | | <p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>調理器具は清潔に扱えるよう熱乾燥させたり除菌するなどし、また、スタッフもこまめに手洗いをするなどして食中毒を予防している。</p> | | |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 80 | | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>季節によって様々な花や道具を飾ったり、また、畑や花壇などを設けることで、会話がしやすい雰囲気を作る工夫をしている。</p> | | |
| 81 | 29 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>異食に注意しながら季節の花や物を飾ったり、明るすぎないトイレの照明にするなど、利用者の落ち着く雰囲気作りを心がけている。また、テレビの音量や匂いなどにも気をつけるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関前にはベンチ・メダカのいる瓶があり、草花のプランターやランの鉢もある。居間のテーブルの上には菜の花や梅、水仙等、季節の花が小さな花瓶に生けられていた。節分で使った鬼の面も壁にかかっていた。</p> | | |
| 82 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>フロアにテーブル・椅子だけでなく、ソファを設けることでいつも大勢で過ごすのではなく、少人数での会話なども楽しめるように配慮している。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 本人の好きな物を飾ったり、持ってきてもらうことでより身近な生活に近づけ、安心して快適に生活できるように工夫している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者の希望でベッドだけでなく、畳で布団を敷いておられる方もあった。自作の習字・砂絵・ガラス細工、お孫さんからの手紙等も置かれていた。 | | ご本人にとって安心できる居心地の良い空間作りについて、しつらえ等、ご家族とも相談しながら全職員で工夫を重ねていかれてほしい。 |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | こまめに換気し、必要時は乾燥に注意しながら暖房をつける。床暖房が使用できるのでそれも利用し、入居者の方が快適に過ごせるよう努めている。 | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 廊下の手すりや浴室・トイレのバーなどで立位訓練を兼ね、かつ安全に過ごせるような工夫・手助けをしている。また、床・居室等に段差がないようなつくりになっている。 | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | トイレや浴室など、公共の物はわかりやすいようにプレートをつくり貼っている。また、居室に戻る際、迷いがちな人も居室の戸口にわかりやすいように好きなものを貼り、混乱を防いでいる。また、張り紙などは利用者の目線の高さに合わせた位置に掲示している。 | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 外に畑や花壇を作り入居者で作業したり見学出来るようにしている。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|--|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 入居時のアセスメントにより、入居者の生活歴や好みなどを理解し、それに基づき、ケアプラン作成し、援助してその都度やミーティング時に話し合っている。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | フロアで過ごすことが多いが時には、スタッフ・入居者同士で居室にて過ごすこともある。散歩による気分転換もはかっている。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 一人一人に合わせた声かけ、スキンシップを心がけている。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 年間行事企画をたて、季節にそった催し物を開催したり、入居者にあったペースで支援している。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 希望に応じ、レクリエーションなどで外出する。計画段階から入居者と一緒に行先や、希望を聞き、計画を立てている。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 毎日のバイタルチェックや、医療機関と密な連携をとり、定期的な受診を行っている。また、表情の変化や言動の観察にも気をつけている。 |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 体調面、精神面の把握に努め、病院受診を行っている。希望により外出・外泊などを行っている。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 面会時には、自然な会話の中で心身の状況、日頃の暮らしぶりなど、詳しく伝え、意思や希望も出していただいている。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない | 施設の催し物に地域の方で、参加して下さる人数が増えた。 |

| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|--|--|--|
| 97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | (自己評価) ② 1 大いに増えている 2 ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない | 運営推進会議のメンバーより自分のこととして建設的な意見をいただけるようになっている。 |
| 98 職員は、生き活きと働けている | (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が 2 ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 職員が自由に言える、雰囲気を作られている。 |
| 99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | (自己評価) ③ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者とのコミュニケーションの中で、入居時と現在の表情や言動の変化が見られる。 |
| 100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 面会時や電話での御家族との情報交換できている。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

介護をする側、される側としてではなく、人と人との関わりを大切にしている。目の前の利用者が、もしも自分だったら、もしも自分の親だったら・・・そんな想いを合言葉に、日々スタッフ間で切磋琢磨しながら質の向上に努めている。地域のシンボリックな建物が、福祉施設に生まれ変わってよかった。やっぱりあんたらでよかった。そんな風に言ってもらえるよう、地域に根付けるよう努力している。特に、開設当初から、利用者と共に島四国お接待行事や毎月の札所清掃では、参拝者や、地域の人々の声から、利用者の地域での役割・生きがい作りになっていると実感している。